

待ちました！2年ぶりに開催 高玉芝居定期公演



11月23日(祝)、さくらホールにて、2年ぶりに17回目の高玉芝居定期公演が開かれました。今年は感染防止のため、蚕桑地区民に限定しての公演となりました。高栄会としても、長井市タスでの令和2年正月公演以来で、演目は「花吹雪情けの夜桜」。今回の公演で、丸吉コンクリート工業㈱と高玉芝居後援会から寄贈された、新しい引き幕が披露されました。定員80名の観客に加えて、総合学習で学んでいる蚕桑小学校の4年生15名も熱心に観劇しました。椅子の間隔をあけて配置し、また幕の合間の換気を徹底し感染防止にとめて、即興の演技を利かせた義理人情劇を久しぶりに楽しみました。高栄会の皆様、担当の生涯学習部の方々、ありがとうございました。

防災研修会を開催しました

11月28日(日)、コミセンで、防災士細谷真紀子氏を講師にお招きして、地域安全部会主催による防災研修会を開催しました。

今回は洪水のような進行型の災害が発生した際に、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の避難行動計画である、マイ・タイムラインの作成をしました。災害発生時に、命を守るサポートツールとして役立てるようにしていきます。



SDGs勉強会(第1回)を開催

11月14日(日)、地域すこやか部会主催で東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科教授の三浦秀一氏を講師に、SDGs勉強会を開催しました。三浦先生から、話題のSDGs(持続可能な開発目標)について詳しく説明していただき、蚕桑の中でSDGsを考える視点を与えていただきました。

多岐にわたるテーマなので、今後も継続して学んでいく予定です。地域全体で蚕桑のこれからを考えていきます。



今年度最後のこぐわキッズ広場

11月27日(土)、健康づくり推進員蚕桑支部との共催で、こぐわキッズ広場を開催しました。畑で育てたさつまいもを使ってお菓子(さつまいもチーズもち)を作りました。

今年度の活動は、中止になった事業もあり、回数は例年より少なかつたものの、地域の皆さんのご協力のおかげで子ども達の確かな成長を感じられました。



蚕桑塾(第1回)を開催

12月4日(土)、新野孝一氏(西横田尻)を講師に、蚕桑塾を開催し、「蚕桑地区養蚕の歴史と文化」と題して講話をお願いしました。

蚕桑村の名前の由来となった養蚕の歴史・文化について、長年の経験に基づいた奥深い内容の講話をお聞きしました。



今、伝えたいことば ⑬

人に憎しみを持たないようにすると、必ず綺麗になりますよ。
やさしい心と奉仕の精神が美しさと若さを保つ何よりの化粧品なのです。

瀬戸内 寂聴



これからの予定

12/29(水)～1/3(月) 年末年始休館
*毎週木曜日青色パト車運行
(12/30・1/6は実施しません)

フラバーボール大会及び輪投げ大会は、今年度は中止とさせていただきます。

雪舟町新田地内大鮎貝川愛護会 県知事より感謝状を受けられました

長年にわたり、堤防周辺の草刈りや河川内のごみ拾いなどボランティア活動に取り組んでこられた「雪舟町新田地内大鮎貝川愛護会」(五十嵐政司会長)が、その功績により、このたび県知事より感謝状を受けられました。誠にありがとうございました。



募集のお知らせ

お申し込み・お問い合わせ：蚕桑地区コミュニティセンター TEL 85-2153

地域すこやか部会主催

第2回SDGs勉強会

SDGsを知ろう！大人も子どもも地球人

第2回SDGs(エスディーズ)勉強会では、よりわかりやすくSDGsを学びます。初めての方でも理解できるような内容です。

◎日時 1月30日(日)

午後1時30分～3時30分

◎内容 SDGsを知ろう！

「蚕桑のSDGsを考えてみよう」

◎講師 東北芸術工科大学

建築・環境デザイン学科教授 三浦秀一氏

◎締切り 1月20日(木)

※参加者には、山形県産杉材で作られたSDGsバッジを差し上げます。



みそづくり講習会

安全でおいしい手作りみそを作ります

◎日時 2月8日(火)午前9時30分

◎持ち物 大豆2.6kg(煮て持つてくる)、

塩1.3kg、みそを仕込む容器

◎米3kgを1月25日(火)まで「ミセン」

に届けてください。

◎材料代 800円(麹加工代)

◎定員 20名

◎締切り 1月20日(木)



つる細工講習会

1回目で、つる細工の基本を学び、2回目で、くるみの皮を使った花入れを作ってみましょう。花入れは初心者も作り易く、マスターすればバッグ作りにも応用できます。

①第1回つる細工講習会

◎日時 1月25日(火)

午後1時30分～3時

◎内容 つる細工材料の採集時期

や切り方等の講習(講義)

◎講師 新野孝一氏(西横田尻)

◎参加費 無料

◎持ち物 筆記用具

◎締切り 1月20日(木)

②第2回つる細工講習会

◎日程 2月10日(木)

午後1時30分～4時30分

◎内容 つる細工の花入れ作り

◎講師 新野孝一氏(西横田尻)

◎参加費 1000円(材料代)

◎持ち物 千枚通し、はさみ(花ばさみ、又は、剪定ばさみ)、エプロン

◎定員 10名(先着順)

◎締切り 1月25日(火)

※1回目と2回目は別々の募集になり、内容時間、持ち物等が異なりますので、ご注意ください。どちらか一方のみの参加も可能です。見本は「ミセン」にあります。



スマホ教室

スマホを持っていても便利な機能を使いこなしている方は意外と少ないのではないでしょうか。この機会にスマホの使い方を基本から学びましょう。1回目では基本的な使い方、2回目では応用を学びます。今更聞けないスマホの様々な悩みがすっきり解決します。

①第1回スマホ教室(基本)

◎日時 2月1日(火)

午前9時30分～11時30分

◎内容 基本的な使い方

◎締切り 1月25日(火)

②第2回スマホ教室(応用)

◎日程 2月17日(木)

午前9時30分～11時30分

◎内容 ネット予約(旅行、飲食店、ワクチン接種などの予約)の仕方、

スマホ決済の方法など

◎締切り 2月10日(木)

※以下、①第1回・②第2回共通になります

◎講師 日本・アルカディア

ネットワーク 職員

◎参加費 無料

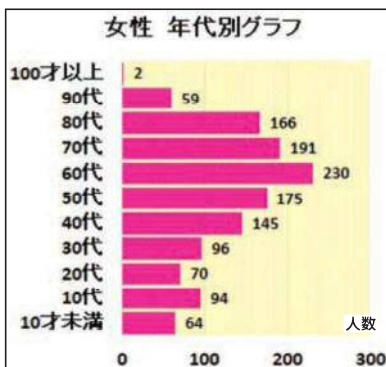
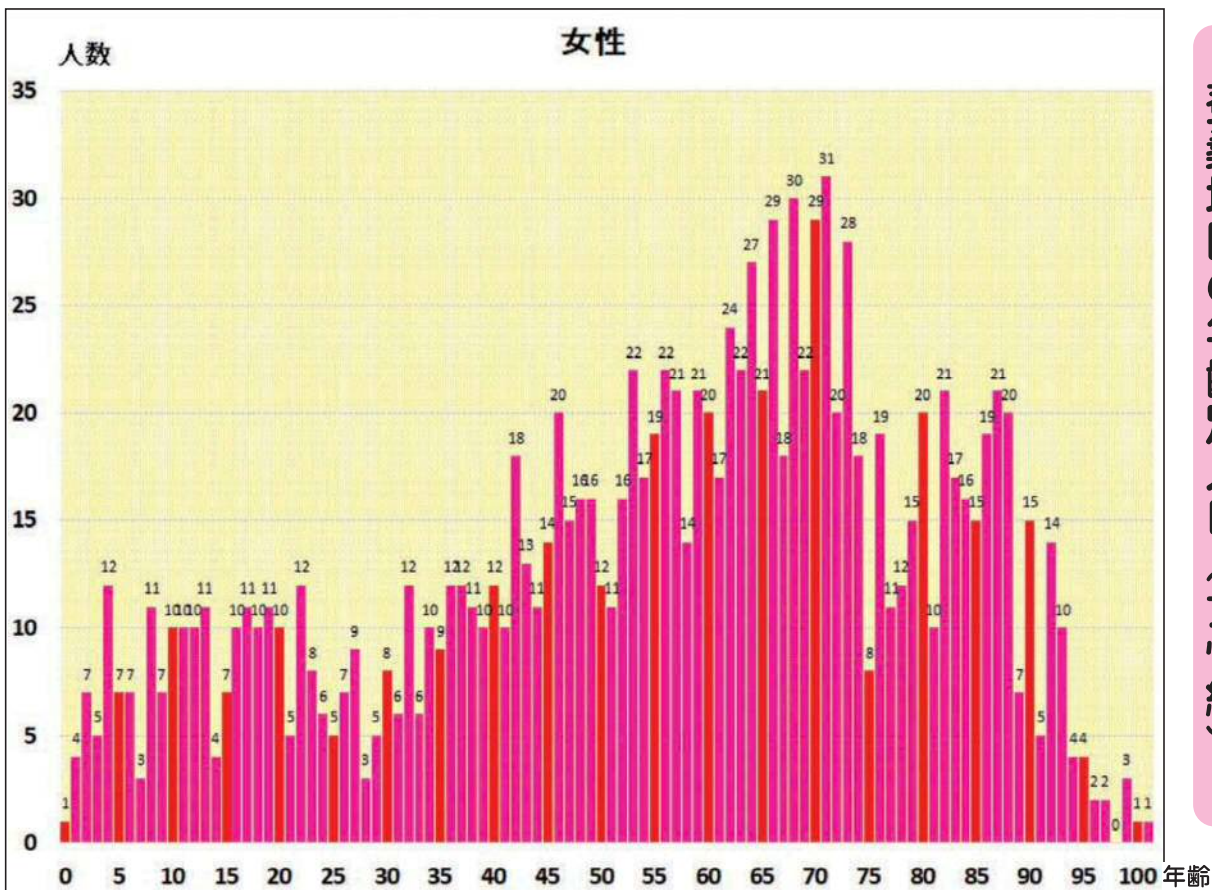
◎持ち物 ご自身のスマホ、筆記用具

◎定員 10名(先着順)

※両方共、先着10名となりますので、お早めにお申込みください。(両方参加も可能です。)聞いてみたいことや使ってみたい機能等があれば、申込時にお知らせ下さい。



蚕桑地区の年齢別人口（女性編）



蚕桑地区の令和3年4月1日現在（女性1,292名）の年齢別人口を上の方棒グラフにしました。男性と同様に、全体がなだらかなグラフではなく、前後の年齢で人数に大きな差があるようです。年代別では60代の方々が一番多くなっています。男性は40代半ばから、女性は50代前半から生活習慣病をはじめとする疾病のリスクが急増するといわれています。ご自身の健康状態を理解するための指標である健康年齢を把握し、疾病を予防して健康な毎日を送りましょう。

◆年末年始休館のお知らせ◆

12月29日(水)から1月3日(月)まで、
年末年始の休館となります。
ご理解とご協力をお願いいたします。

早いもので、今年一年が過ぎようとしていきます。いつも思うことですが、年々、月日の流れが早く感じます。コミセン事業では、中止になったものもありますが、皆様のご協力により、文化祭や高玉芝居定期公演が無事に開催できました。ありがとうございます。

今年の雪はどうでしょうか？除雪や雪下ろし作業は危険が伴いますが、周囲の方々の声がけや見守りで、安全に冬をお過ごしください。

来年のカレンダーには、様々な行事が書きこめるといいですね。皆様、どうぞよいお年を。(横山)

あとがき

ユーモア句
お気持ちの寸志が つくり来た 幹事
カレンダー七福神が笑ってる

案柳 一杯

課題 「カレンダー」
予定などない日が多くなる二人
一日の過ぎる早さに追い付けず
カレンダー命と共に捲る日々

凡古 笑柳 臯月

課題 「気持ち」
軸足はまだ故郷に置いたまま
気持ち込め何でも挑みやる気マン
しやわせと言う名で生きている余生

案柳 凡古 八重

山柳

蚕桑交柳社作品

地域で輝く企業びと

今回、地域振興部で、蚕桑地区内で起業されている方を取り上げさせていただき、地区の方にご紹介する企画を計画いたしました。

第1回目は、西横田尻の小林真さん（53才）の、株式会社シュナイトを訪問させていただき、業務内容や実際の作業現場を見学させていただきました。その内容をご報告いたします。



Q1. 起業した経緯を教えてください。

東日本大震災の災害復旧で NPO（社会的活動をする非営利の民間組織）を立ち上げたが、未活動状態だった。また自分の山林を、9町歩（9ha）所有しているが、どこにあるのかを知らない現状だった。町内で発生した西部地区の流木による水害、東部地区の山林地すべり被害等で、林地管理活動の重要性を再確認し、本格的に会社組織として取り組み始めた。

Q2. 会社の沿革はどのようになりますか。

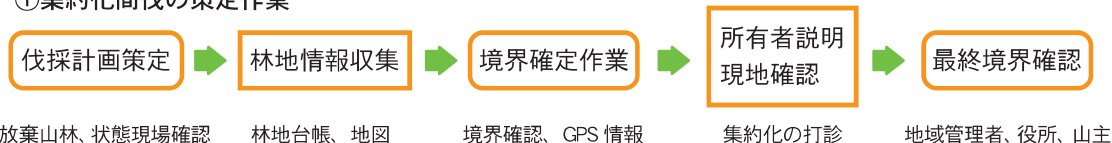
母体は介護関係のウエルランドで、事業分けで行っていたが、7年前に分社化し役員4名、事務職1名（女性）、従業員1名（女性）の組織で、長井市舟場に会社を設立。小林さんは、社長で会社経営と、営業全般と実作業も兼務している。

Q3. どのような業務内容でしょうか。

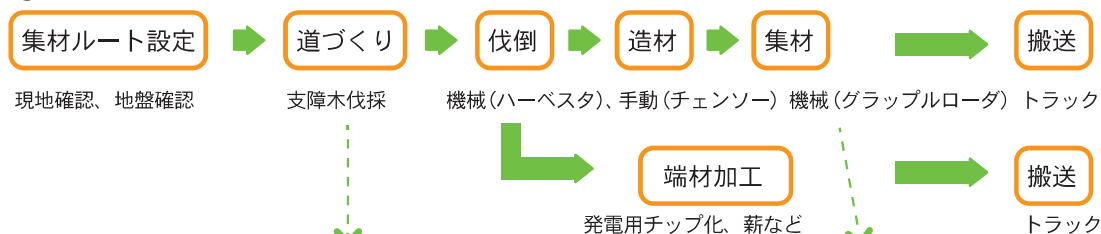
大きくは2つに分かれ、手入れがなされていない森林の、立木密度を疎にし、残した木の肥大成長を促し、森林全体を健康にする間伐作業と、間伐後森林を、定期間伐（数年間隔）して、成長促進作業です。間伐した林材は、造材（長さが2、3、5 m）し、合成材、建築用材、一般木材、チップ材、薪材と廃棄部分が極力少なくして、売却して利益を得るようにしています。

Q4. 受注からの一連のお仕事を具体的にお教えてください。

①集約化間伐の策定作業



②実作業



Q5. 仕事の進め方で、こだわっている事を教えてください。

- ①間伐エリアに、残材を残すと、2次被害を起こすので、現場に残さないように作業を行っている。
- ②山に興味がない所有者や、維持管理ができずに自然放置状態の山所有者などの方に集約化林業を紹介し、間伐作業で整備、山に地力をつけさせて、災害防止を推奨している。
- ③間伐木材で得た利益の一部を、山主さんにキャッシュバック（税金＋少額の金額程度）できるようにしている。
- ④屋敷の木も伐倒依頼はあるが、クレーンや重機の使用で、高額になるので、見積りは行いが、専属で仕事をなされている業者を紹介し、依頼主の負担を軽減するようにしている。

Q6. 作業現地見学と作業状況。

- ①十王地区の5ha（10人が所有している所）
⇒承諾を得られなかった区画は、一目瞭然でわかる



現場は作業が2ヶ月かかる

- ②山口の姫城地区に、端材置場（葉枝、不適造材）
⇒バイオマス発電用のチップ化作業も行っている



50mmメッシュ篩（ふるい）にかけた残チップ
（除外品は遊歩道用の敷きチップとなる）

- ③西横田尻の着手現場



搬出ルート用の道を切り開く
・・・支障木を伐りながら50m/日長さで道を作る



搬出場所を設定後、鉄板を敷き安全化を図る

Q7. 仕事で苦労したこと。

- ①集約化で、山主（所有者）さんに説明する手順ミスで、承諾が得れず、取り残しエリアが発生した事。
- ②立木の状態は良いが、いざ伐倒すると、造材できなく、利益性が低かった。・・・木の目利き不足だった事
- ③雑木は薪材として薪販売（滝野地区）や、造材し難い唐松、合板材の赤松と木材種類で用途が多様化し、広範囲になり手間がかかるようになった事。

Q8. 今後の計画または目標を教えてください。

- ①年間4,000トンだが、目標は5,000トン、ただし、理想は、現在の人員で10,000トンにする必要がある。
- ②不足人員や、作業は外部委託で一時的に対応していく。
- ③白鷹町内の整備計画（30～40ha）、真室川町、または県の林業公社の受注をしていきたい。

まとめ

お忙しい中、現地見学をさせていただきながら、集約化林業を取材させて頂き、有難うございました。集約化林業で、間伐し、地力をつけて、自然災害（土砂崩れ、倒木など）を、少なくするという理念や間伐した木を残さずに利用する事は、すごいことだと痛感しました。雪の降る地区で通年作業の受注は大変かと思いますが、ご活躍ください。

蚕桑地区桜の里づくり推進委員会・地域振興部 ・担当：佐藤、黒田、金田
作成 令和3年12月1日